施策評価調書（24年度実績）

施策コード	Ⅲ－1－(4)

政策体系	施策名	地域に根ざした大学等高等教育の推進	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	119
	政策名	教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、商工労働部		

【Ⅰ．主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	公立大学法人制度を生かした 県立大学の改革の推進	地域における「知の拠点」としての 県立大学の機能発揮	県内大学等との連携による 産業の振興や地域活性化の推進

【Ⅱ．目標指標】

指標		関連する取組No.	基準値		24年度			25年度	27年度	目標達成度（%）
			年度	基準値	目標値a	実績b	b／a	目標値	目標値	25 50 75 100 125
i	県と県内大学等との連携事業数（件）	②③	H18	25	74	68	91.9%	82	100	
ii	県立大学の公開講座数（講座）	①②	H22	36	40	37	92.5%	42	46	

【Ⅲ．指標による評価】

評価		理由等	平均評価
i	概ね達成	県及び大学の双方に連携強化の意識付けができたことにより、目標値を概ね達成した。	概ね達成
ii	概ね達成	看護科学大学及び芸術文化短期大学が、中期計画に定めた社会貢献として取組を進めたことにより、目標値を概ね達成した。	

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	指標以外の観点からの評価
①	・高度な知識と技量を備え、社会が求める人材を育成するため、看護科学大学では、H23に全国に先駆けて開始した学部4年間での看護基礎教育モデルとなるカリキュラムの検証を行い、芸術文化短期大学では、芸術系学科においてもインターンシップを開始した。
②	・地域に根ざした大学づくりのため、看護科学大学では、市町村や保険団体、他大学と連携し、生活習慣病調査や健康づくりの研究などに積極的に取り組み、芸術文化短期大学では、県立美術館まちなか支局と連携しワークショップを開催する等、地域連携活動に努めた。
③	・平成17年に連携協定を締結した大分大学と一層の連携を図るため、県幹部と大学幹部との初の意見交換会を開催し、まとめとして「連携窓口等の仕組みづくり」「意見交換会の定期開催と個別具体的な連携の推進」「講師派遣等人的交流」を相互に確認した。 ・高度な知識を有する大学の活用により産業の振興等を図るため、県内大学と連携し、技術開発拠点を構築した。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組No.	事業名（24年度事業）	事業コスト（千円）	25年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	公立大学法人運営費交付金	1,152,204	継続	20/89
②	次世代電磁力応用技術開発事業	24,733	終了	133

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展」プラン2005見直し策定委員会 （H23. 7） ・高等教育サービスを受ける住民の多様なニーズに応えることができるような大学間の連携を進めていく必要がある。	

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	・教育・研究内容の検証、見直しを図り、さらに魅力ある大学づくりを推進する。 ・看護職者の継続教育や一般県民への専門的教育の機会の提供等、県民が求める貢献に取り組む。 ・知の拠点である大学と行政及び地域が連携し、地域課題の解決や地域活性化に取り組むための体制整備を図る。